

(様式2)

令和 6 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590500250		
法人名	株式会社ケンブリッジ		
事業所名	グループホームひなた(2ユニット共通)		
所在地	柏崎市加納5884		
自己評価作成日	令和6年11月3日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590500250-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和6年12月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・1人1人の状態に合わせたケアをしている点 ・浴室にリフトがあるので、車椅子などになった場合でも入浴ができる点 ・外出、外泊を自由にできる点
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○理念の共有と信頼に向けた関係づくり 事業所の理念「寄り添う心」は、数年前に皆で話し合い作られた。毎月のミーティングで振り返りながら「寄り添う」利用者へ、職員へ「心」を込めて、どんな場面でも共有しながら日々の生活の中で支援に努めている。外国人の技能実習生も受け入れていることもあり、言葉遣いや言葉の意味も互いに考えながら反映させるように努めている。地域の高齢化・少子化問題で伝統行事が少なくなり、地域の方々との交流が難しくなっているが、事業所として面会や外出・外泊なども可能な限り受け入れて家族や馴染みの方との交流を模索し、利用者の想いに寄り添いながら安心・安全で豊かな暮らしに向けた生活が継続できるよう実践に繋げている。管理者は日頃から利用者・職員・技能実習生等も話しやすい雰囲気づくりに努めている。言葉の壁を乗り越え、毎日、笑顔があふれる生活が出来るように、共に前進している事業所である。 ○その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 玄関フロアには、利用者が作成した大きな将棋の駒が置かれ、来訪者を出迎えている。明るく広い廊下の壁面や共有空間には貼り絵や写真、利用者が制作した作品や書初めなどが飾られている。庭いじりの得意な利用者は、事業所の生垣の冬囲いや、春には花壇の手入れに一生懸命である。居室は使い慣れた家具や電化製品を始め、家族からプレゼントされた人形や写真等が飾られている。また、利用者が持参された「大正琴」は居室に飾るだけでなく、利用者と職員と一緒に歌う伴奏にと役割も担っている。利用者一人ひとりの思いや暮らしぶりの継続を支援し、その背景やエピソードを大切に日々の支援に努めているのである。
--